

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オハナピース新所沢		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 24名分
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名分
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日		

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方との情報共有や連携を意識している	児童の体調や様子を送迎時に細かく伝えること、また保護者の方だけではなく学校の先生方とも連携や情報交換を図るよう意識しています。	引き続き、送迎時や面談時等で常に丁寧に細かくお伝えできるよう心がけ保護者の方々が安心していただけるよう努めます。
2	ブログやInstagramで日々の活動の様子を紹介している	定期的に活動の様子をUPしている 楽しんでいる姿や頑張っている姿等、事業所での様子を沢山伝えられるよう意識している	引き続き、出来るだけ沢山の様子をお伝えできるよう努めます。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対する家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）、保護者様同士の関わりやきょうだい向けのイベントの開催が少ない。	保護者会のみしか行っておらず、その他の機会を作ることが出来ていなかった。	定期的な保護者会等で保護者の方々の交流の場や、意見交換ができる機会を増やす。 きょうだい向けのイベントの開催も視野に入れていく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	土曜日や長期休暇等の日には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供出来ていないことが多い。	下校時間が早い時等の平日も公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	オハナブース新所沢	公表日	2025年04月01日
		利用児童数	29名
		回収数	24名分

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1		2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24				子どもの活動動線も安全に確保され適切な配慮がある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1			・ しっかり理解いただいた上で支援を下さっている。 ・ 毎回の取り組みや課題に意欲的に取り組んでいる様子からそう思う。	今後も満足していただけるよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	9	1	5	近隣の小学校や中学校と交流があるという。	検討させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3	1	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24				面談や送迎時には話しやすい雰囲気をつくって頂き、相談しやすく適切なアドバイスを頂けています。	引き続き、定期的な面談や送迎時にお話しできるよう努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	6	1	3	・ 無いが、思春期世代のきょうだいはイベント参加が難しいかもしれない。 ・ 参加できていないが、企画していただいている事は説明を受けている。	検討させていただきます。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2				
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23			1		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			2	実施されていると保護者会にて説明を受けている。 SNS等も活用しお伝えしていきます。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1				
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23			1	どの職員さんのことも大好きで子どもから職員さんの名前がよく出ており、子どもの話す内容から毎回楽しく安心して通所している様子がわかる。	引き続き安心していただけるよう努めます。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				大変良くして下さい。学校の急遽な予定変更等の際にもサポートしていただき感謝している。	今後も満足していただけるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	オハナビース新所沢			公表日	2025年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		適宜部屋割りをしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	こどもの特性からすると少し足りていない状況がある。 職員数確保は確実に実施されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	靴箱の蓋が危ない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		2部屋をTPOに応じて使い分けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	緊急時は事務所を使用する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	振り返りを定期的に行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・逐次、職員から意見は出ており情報の共有化されている。また、新たな注意事項は記録されている。 ・改善の動きが少ない	定期的な話し合いの場の回数を増やし、業務改善につなげる。 申し送り書のさらなる活用を意識する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		療育・支援にスポットを当てた研修を増やすべき 月1回の社内研修実施	社内研修だけでなく、事業所内での課題に沿った研修を受ける。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		ファイル化されいつでも閲覧できる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		本人支援以外にもおこなっている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8				
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		昼礼にて実施		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	なかなか時間がとれていないと感じます。もっと共有していきたい。	定期的な話し合いの場の回数を増やし、業務改善につなげる。 申し送り書のさらなる活用を意識する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	児童発達支援の事業所で行えているところもある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	児童館には行くことがあるが一緒に活動はしていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送りの時は必ず保護者とのコミュニケーションをとっている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	保護者会を実施	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会を実施。 2月は都合により延期となったが定期的に保護者会を実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		児童の事務所への出入りは控えさせるべき。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		季節のイベントにより交流している。 近隣の会社や商店との交流を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		策定はされているが周知が足りないところがある。	周知機会を増やす。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練を実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画の周知がされていない。	再度周知を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		同意書を作成し実施するとよい。	